

平成7年度「第2回幹事会報告」

平成7年6月8日 国立京都病院

I 報告・協議事項

事務局(総務・会計) (1)新会員:市立川西病院(新会員欄参照) (2)第66回日本医学図書館協会(5/18 聖マリアンナ医科大学附属図書館)への参加については、1月末参加申し込み締め切りであったが、阪神大震災とその復旧支援のために欠席の返書を当番館に出した。(3)5月27と28日の両日、社会保険神戸中央病院と神戸労災病院へ会員から延べ12名が2班に分かれボランティアによる支援活動をおこない、図書室資料の配架整理を手伝った。また、参加者のボランティア保険に加入し、協議会が保険金を負担した。なお、保険金は、1年度 500円/一人で16名が加入した。(報告記事参照) (4)総務連絡事項:会員異動など (5)会計報告:収支決算の中間報告があり、特別の支出などはなかった。(6)現行所在目録編集経過:編集委員から報告の報告では現在、作業は中断中だが夏発行をめざしている。(7)4月をはじめ、病院図書室研究会より「阪神大震災による会員の被災について」(H7/01/31)の報告書を病図研会員へも配布したいとの電話による申出があったので、了承した。

研修部 6月28日に淀川キリスト教病院において、「相互貸借」を中心に勉強会を予定。また、7月には第75回研修会を県立尼崎病院で予定し、プログラムのうち未決定のテーマ・講師などの交渉にあたっている。秋のスケジュールについても計画が提出された。

会誌編集部 15巻(1/2)合併号の編集状況について目次のコピーが配布され、6月中旬に発行する予定との報告。今回から初めてフロッピーでも原稿が提出されるようになった。15巻3号の内容は未定だが早急に企画を立てる。また編集体制が変わったこともあり、部

内で学習会を計画している。

統計調査部 担当者は欠席であったが、今年度の統計調査の準備中であるとの報告が前もってあった。

II 決定事項

・会員の異動があった場合は、総務へ連絡すること。毎年4月に研修会案内状に同封して異動調査を会員へ実施する。

平成7年度「第3回幹事会報告」

平成7年8月3日 星ヶ丘厚生年金病院

I 報告・協議事項

事務局(総務・会計) (1)第63回近畿地区医学図書館協議会例会(7/28 京都大学医学図書館)に事務局の小田中徹也、幹事の首藤佳子の2名出席。なお、同協議会の会則改正案について当協議会の立場から若干の疑問点を出した。(2)日本病院会図書室部会委員長篠原寿美江氏から、電話で今年度の全国図書室研究会(9/28.29 東京)の開催にあたり当協議会の後援名義の借用依頼があった。また、シンポジストの依頼もあわせてあった。(3)総務連絡事項:会員異動など (4)会計報告:今年度の会費は9機関が未納であることが報告された。支出上は特になし。(5)現行所在目録編集経過:編集体制について検討したが、編集委員一人で発行は可能との報告。

研修部 勉強会(6/28 淀川キリスト教病院)へは14名、第75回研修会(7/27 兵庫県立尼崎病院)へは25名のが参加者があった。秋の名古屋での研修会については、10月中旬に公立陶生病院で開催を予定し、テーマは「パソコンと病院図書室」とすることになった。また、別に10月に勉強会も予定している。

会誌編集部 会誌15巻(1/2)号の発行報告があり、予定を大幅に遅れたことについて説明

があった。15巻3号は「地震と病院図書室」の第2部を特集とする企画案が報告された。また、4号については、「看護婦の利用促進」として特集を企画していることが提出された。統計調査部 6月中旬に会員へ統計調査用紙が配布され、集計作業中である。

II 決定事項

特になし。第4回幹事会は10月5日に社会保険神戸中央病院で開催する予定にした。

《新入会員紹介》

市立川西病院

〒666-01 兵庫県川西市東畦町5-21-1

TEL. 0727-94-2321

FAX. 0727-94-6321

院 所：辻井 潔

担当者：佐々木明（兼任・総務）